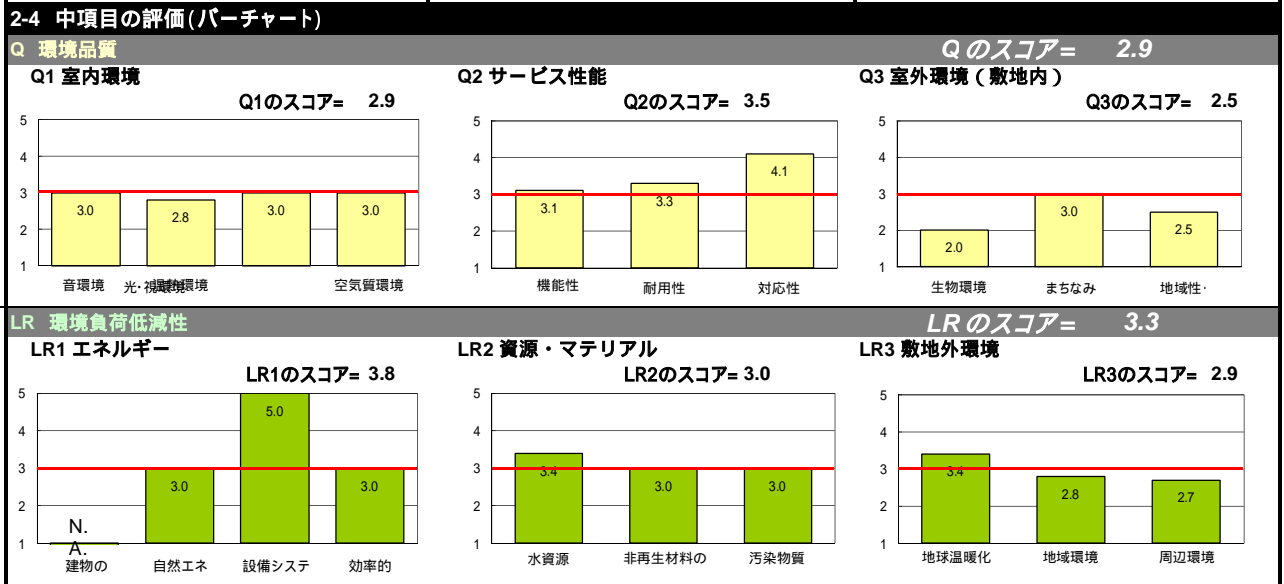
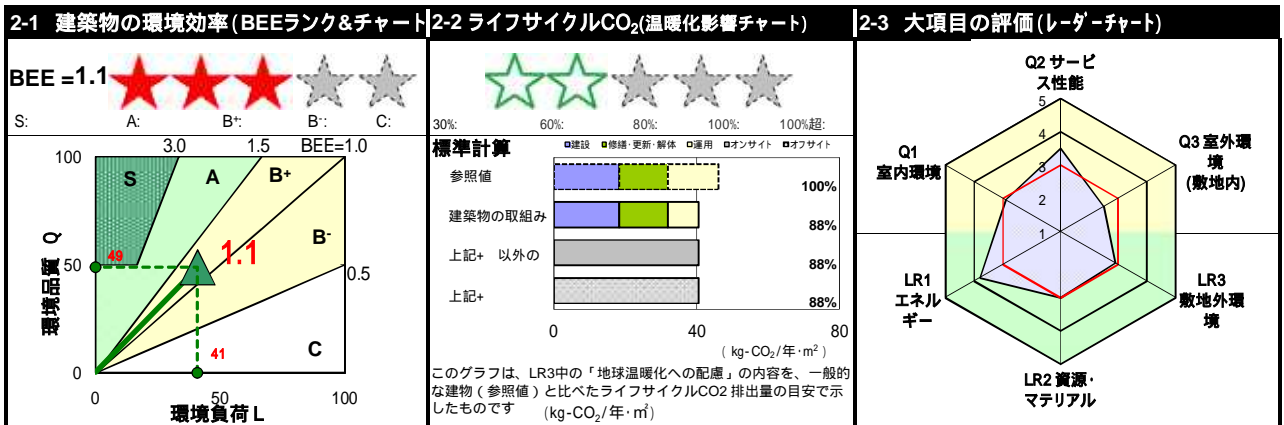


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ニコ相模原(仮)837号館	階数	地上7F
建設地	相模原市南区麻溝台1-10-1	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	120人
気候区分		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	工場	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2014年10月 予定	評価の実施日	2013年10月30日
敷地面積	3,286 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 竹中工務店
建築面積	2,159 m <sup>2</sup>	確認日	2013年10月30日
延床面積	10,864 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社 竹中工務店

3 設計上の配慮事項		
総合 屋外設備機器、土壌汚染、日影を考慮し、環境への十分な配慮を行っています		その他 最新のクリーンルーム技術や振動への配慮など、機能を十分満足させるスペックとなっています。高品質で省エネルギーな施設となっています。
Q1 室内環境 ロッカー室は十分な面積を確保しています	Q2 サービス性能 生産室の床下には東西、南北方向に排水管ピットを設置。また上部(天井裏)に中間階(M階)を設け、メンテナンス性の向上を図っています。プレースを建物の各所に配置し、耐震性能の余裕度を、一般建物の1.4~1.6倍としています。	Q3 室外環境(敷地内) 設備機器から発生する音の遮音や、敷地周辺からの見え方に配慮して目隠し壁を設置します
LR1 エネルギー 負荷変動に合わせた台数制御性、及びメンテナンス性に優れた熱源システムを採用し、省エネに配慮しました。	LR2 資源・マテリアル 各階・各系統毎の単独ダクト方式+インバータファンによる省エネ排気システムを採用しています	LR3 敷地外環境 汚染土壌の搬出量を最小限とし、地下水に全く影響のない杭工法を選択します。 日影既存不適格部分に影響のない高さ設定とします

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される